

教師が研修で活用している手法は、児童生徒が授業場面で課題に取り組む際にも活用することができます。児童生徒の考えや思いが引き出しやすく、主体的な活動につながります。

手法を活用する際には、そのねらいを明確にし、授業や教育活動に効果的に取り入れていくことが大切です。

## 事例 1 (小学校)

KJ法による話し合いや発表を、各教科や総合的な学習の時間、学級活動等で活用する。

三

### 具体的なすすめかた

#### (1) 日常生活の振り返り (15分)

自分たちの学校をもっとよくすることをめざして、日々の生活を振り返る。気がついたことを2色の付箋紙に書く。

- ・ピンクの付箋紙 自分や学校みんなのよいところ
- ・黄色の付箋紙 自分や学校みんなのなおしたいところ

- ・思いついたことをどんどん書く。
- ・1枚の付箋紙に1つのことを書く。



#### (2) 話し合い (30分)

各自で書いた付箋紙を発表しながら出し合い、みんなで学校のよいところやなおすべきところを見つける。

ぼくたちの学校をこんな学校にしたいんだ。



この内容は、この仲間に入るね。

子どものめざす姿

よい点

改善点



児童が発表した内容を聞き、教師が類似の内容ごとにまとめて、内容の整理をすることも考えられます。



#### (3) まとめ (5分)

話し合ったことをもとに、これから取り組んでいくことをみんなで確認し合う。

- ・児童自身が目標をもつ
- ・学級経営・学校経営に生かす
- ・保護者にも働きかけて一緒に取り組む

## 事例 2 ( 中学校 )

ポスターセッションによる話し合いや発表を、学級活動や部活動、生徒会のリーダー研修会等で活用する。

### 具体的なすすめかた

#### ( 1 ) 解決すべき課題について討議 ( 5 分 × 人数 )

ブレインライティング法 ( 発散思考 ) を用いてグループ協議を行う。

なるべく多くの意見やアイデアをすべての部員から集め、付箋紙に書く。

( 例 ) 「現在の 部の課題は何か。課題の解決に向けてどんなことに心がけたらよいか。」



#### ( 2 ) 項目の整理 ( 1 5 分 )

付箋紙をホワイトボード等に貼りだし、アイデアをグループ分けして、キーワードとなるタイトルを考える。



#### ( 3 ) 模造紙でタワーを作成 ( 2 0 分 )

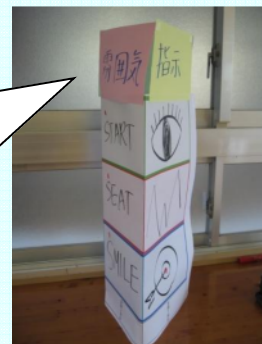
模造紙を折って三角柱を作る。

( 縦長、横長どちらでも可 )

三角柱の各面に一つずつキーワードを記入する。

キーワードに対応するアイデアや意見等を記入した付箋紙を貼り付ける。

協議で出たアイデアをもとに、これから具体的にどのようなことを取り組んでいくのか、優先順位を決めて、キーワードごとに記入しましょう。絵や図も効果的です。



#### ( 4 ) グループ発表 ( 1 0 分 )

三角柱に貼られた付箋紙をもとに、検討課題についての分析や解決案等を整理した内容を発表する。

グループが多い場合、すべてのグループが同時に発表し、参加者が興味のあるグループを選んで聞きに行く方法 ( セッション形式 ) を取り入れると、効率的に話し合いの内容を共有することができます。



#### ( 5 ) まとめ・振り返りシート ( 1 0 分 )

他の参加者に、感想を付箋紙に記入してもらう。

グループごとにボードに貼り、気付いたことやよかったこと等を振り返りまとめる。